



問 フレコンバッグ廃棄物の早期処分を求め、早急に動いて前に進めたい。時間が必要

公明党 岡崎 悟 議員

議員 白方公園と他の公園にある除染廃棄物の処分対策を伺う。

村民生活部長 除染作業で発生した土壌や落ち葉等は、可燃物・不燃物に分け、国の「ガイドライン」に基づき、フレキシブルコンテナで保管している。可燃物は環境省から焼却処分の指導を受け、ひたちなか市と本村で協議を続けているが、ひたちなかクリーンセンターでの焼却作業は進んでいない。また、土壌等の不燃物は国の処分方針や方法等が示さず、早急に示すよう求めている。一時保管から間もなく2年、不燃物の処分方法を示してもらい、適切に処分したい。

議員 担当課は処分が進まず苦慮しているが、村民には伝わっていない。早急な対策を求める。



白方公園のフレコンバッグ

村長 国へ現場の声が届かない。要望だけでは進まないで、早急に動いて前に進めたい。時間をいただきたい。

議員 ひたちなか市と協議し、進め

問 切れ目のない子育て支援「ネウボラ」とは

答 地域ケア機能をもつ拠点で、相談体制を充実

議員 村長が目指す「ネウボラ」とは。

村長 総合戦略の1つに掲げた「若い世代が安心して子どもを産み育てることができ、東海村」を実現するために、妊娠期から子育て期に至るまで切れ目のない支援が必要である。本村の母子保健サービスや子育て支援は、細かく個々への対応をしている。さらに、ネウボラの要素を取り入れて、地域ケアシステム機能を有する拠点づくりと相談体制の整備を図り、地域の子育て支援センターや子育てサロン等の関係機関と横断的な情報の共有を図り、きめ細かな子育て支援を進める。

議員 ネウボラの構築が進むことで、乳幼児への虐待防止対策も進む。3月末には、開設を求めてきた子育て専用サイトが開設される。次に求める事業は、施設産後ケアと産前産後のヘルパー派遣である。取り組み

の現状を伺う。

福祉部長 施設産後ケアは、家族より支援を受けることが困難な妊婦にとっては大変有効な取り組みと認識している。なお、利用料金が高額になることから、補助制度などを制定し、妊婦の経済的な軽減を図りたい。また、ヘルパー派遣はサポートを受けることで安心感につながり、精神的不安に陥ることなく出産を迎えることができるかと考える。さらなる充実を図る。

議員 施設産後ケア利用者への助成を行うということなので、是非とも進めていただきたい。



児童センター